

法人理念	「世のため他人（ひと）のため」「人の幸せが法人の喜び」		
支援方針	遊びや運動・行事などを通じて集団の中で経験を豊かにし、社会生活がより円滑に行われるよう支援して行きます。		
送迎実施の有無	あり（片道30分程度）	営業時間	10:00~17:00
支援内容			
本人支援	健康・生活	バイタルチェック及び全身状態の把握を行い、異常の早期発見、対応を行います。また、食事・排泄・着脱等、基本的習慣を身につけられるようステップで支援を行います。タイムスケジュールでの支援やPECSを用いて様々な障害特性に応じた支援プログラムを実施していきます。	
	運動・感覚	遊びを通して、さまざまな素材の感触や音などを感じ五感を育む活動を実施していきます。また、トランポリンやバランスボール等を使用して体を動かす粗大運動を取り入れた遊びを通し、運動能力の向上を図ります。	
	認知・行動	運動や感覚の活動を基に、知育玩具等を用いて認知の発達、空間や時間の概念形成を身につけられるように支援していきます。視覚・聴覚・触覚を活用した活動の提供を行い、その中で情報収集し認知過程の発達を支援していきます。認知・行動の手がかりとなるような概念を形成し体験活動を実施していきます。	
	言語 コミュニケーション	活動を通じて他者と関わり、体験と発声機会を増やすことにより身につけ、自身の意思を伝えることができるよう支援していきます。障害特性に合わせ文字や記号、絵カードなどのツールを用いてコミュニケーション能力の向上のための支援をしていきます。	
	人間関係・社会性	日々の活動や他者との関わりの中で周囲の人と安定した関係を形成し平行遊びや連合遊びから大人が介入し、集団での活動を通して役割分担やルールを守る等の社会性の発達を支援していきます。さらに、活動を通してアタッチメントの形成、ロールプレイングを必要とする活動を通して対人関係の構築を促していきます。	
家族支援	連絡ノート、送迎時の会話などで随時情報共有をするとともに、必要に応じて面談や参観する場を設けて不安や困りごとへの相談援助を行います。		
地域連携	学校や相談事業所と利用者様の情報共有を行なう事で連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。		
移行支援	ライフステージの切り替えにおける助言を行ない、言葉遣いや身だしなみ等の生活スキルを向上させることで各場面での困り感や適切な身の振る舞いが出来るよう支援していきます。		
職員の質の向上	定期的な社内研修や勉強会の実施。地域の他事業所との交流会の参加。また、オンライン等を活用し地域外の研修にも参加して職員の質の向上に努めています。		
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた行事（クリスマス会・節分・ひな祭り・夏祭りなど） ・地域の施設見学（工場・農場見学・スーパー等の社会見学など） ・地域主催のイベント（ふれあい広場など） 		